



飯舘村における将来世代への復興知継承に向けた教育研究プログラム



東京大学大学院農学生命科学研究科

連携市町村：飯舘村
 現地拠点：福島県相馬郡飯舘村佐須滑87
 (認定NPO法人ふくしま再生の会事務所内)

【農業実践者世代】

村各地に根付いた復興知とスマート農業の現場知を実践し、将来世代へ引継ぎ可能な人材

【小・中学世代】

村における農を中心とした生活の歴史と魅力、および民族知を認知し、浜通りの農業とその将来に興味を示す人材

【高校・大学世代】

最先端のICT技術に関する知識を有し、農業現場の課題解決に資する実践や研究活動を行うことを目指す人材

人材育成目標

遠隔草刈実験



水田アート試行



農業残渣を活用したメタン発酵肥料作成実験



テーラーメイドたい肥作り研究



水田灌漑水量モニタリング



農山村部における獣害対策



里山部のキノコ・山菜文化の復興



村内里山部の再生と利用再開に向けた検討として、農村地域内の有機物循環に基づくリジェネラティブ農業の試み、ICT技術を活用した堆肥作り、およびキノコ・山菜の食文化復活に資する調査を実施する。

農を中心とした生活の復興と拡大のための研究プログラム

1

事業概要

放射能汚染地というハンデを背負った飯舘村の復興には、単なる技術的な除染やインフラの物理的再建だけで終わらず、その先に新しい日本型(小規模世代間交流型)農業の創設にチャレンジする若者の育成が肝要である。

FPBL(Field & Project Based Learning)

現場課題解決指向型学習

大学の学問知×現地の経験知
復興知を現場の課題解決と研究活動に展開

復興知の将来世代継承と発展のための教育プログラム

2

現地における多様なステークホルダー(農家、通いの住民、移住者、道の駅、村役場など)との交流を含むフィールドワークプログラムを実施する。また地域愛着や自己効力感を指標として事業全体の評価を実施する。

全国の高校・高専・大学生の招聘と実践・研究活動への導入

オンラインでの田植え・花見・空中散歩・稲刈り



東大むら塾の寺子屋活動や村のプロモーション



学生サミット開催



福島を舞台としたフィールドミュージアムツアー



【全体】

今年度の活動を拡大し、分科会メンバーを含めた連携体制を強化し、村と大学が一体となった事業推進を目指す。

3年目の方向性

【研究】

飯舘村の農地に合ったたい肥作りや、広げた電波システムを活かした研究の推進と拡大。

【教育】

オンラインと現地研修のハイブリッドプログラムの設計と対象人材の拡大を目指す。



までい大学
Madei University

東京大学

明治大学

福島大学

連携体制

飯舘村

村内組織

ふくしま再生の会

合同会社 MARBLING